ターボ機械協会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　更新日：2020年6月1日

第149回セミナー（Web形式のセミナーに変更）

「可変速を含むモータ駆動ターボ機械における諸問題」

地球温暖化問題に対する対策として、カーボンフリーや省エネルギーの観点から、ターボ圧縮機の駆動機として蒸気タービンやガスタービンに代わりモータが適用されるケースが増大する傾向にある。中でも、プラントの高効率運転のため、インバータを適用した可変速（VSD/VFD : Variable Speed Drive/ Variable Frequency Drive)モータを採用されるケースが増えてきている。

一方で、ターボ機械エンジニア（機械系）と可変速モータエンジニア（電気系）の相互理解不足に起因する、各種の問題・トラブルが発生した事例が少なからず報告されている。機械的なねじり振動と電気的なトルクリップルとの機械・電気連成振動や、単独のターボ機械トレーンだけでなく電気系統を介した複数のトレーンでの連成振動も発生しており、結果として機器が損傷しプラントを停止するような事例も発生している。

本セミナーでは、可変速モータの基礎から学べ、機械エンジニア・電気エンジニアが知っておくべき設計上の留意点や、複雑な機械・電気連成振動問題まで、トップレベルの専門家が事例も示しながらわかりやすく解説します。ターボ機械・可変速モータの設計者だけでなく購入者・ユーザにとっても良い勉強の機会を提供しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

日　時：2020年7月3日（金）　9:50～17:20（9:30開場）

方　式：Web形式のセミナー（WebEx）\*別途参加方法をご案内いたします。

参加費：会員　33,000円，非会員　44,000円，学生　5,500円 （税込・テキスト含む）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | テーマ | 内容　 | 講師（敬称略） |
| 9:50～ | Webセミナー要領説明 |
| 10:00～11:10 | 可変速モータ駆動ターボ機械の諸問題について | コンプレッサあるいはブロア、ポンプなど被駆動機を可変速モータで駆動する回転機械システムはプラントの省エネルギー推進のキーとなる。信頼性・操作性の高い可変速モータ駆動回転機械システムは、エンド・ユーザ、エンジ会社、回転機メーカ、電気メーカ、専門分野で言えば機械系と電気系エンジニアの相互理解・努力の上で具現化される。それらをVSD分科会活動として実践している。 | VSD分科会主査坂口　順一TMEIC |
| 11:20～12:30 | 可変速モータシステムの基礎と最新技術 | 可変速モータとインバータシステムの基礎、種類、及び、適用方法と留意点について最新技術動向を踏まえて解説する。 | 上原　考広TMEIC |
| 【昼休み】 |
| 13:30～14:40 | 可変速モータ駆動回転機械の電気機械連成振動問題事例 | インバータを含む電気系に係る諸問題、および電気機械連成振動問題によるトラブル事例と解決策の紹介を電気系統全体をマクロな視点で捉えて解説する。 | 甲斐田　隆一千代田化工建設 |
| 14:50～16:00 | 可変速モータ駆動方式の設計上留意点と事例紹介 | 可変速モータ方式で圧縮機トレーンを駆動する際の設計上の留意点と、具体的トラブル事例及び解決策を、設計者視点で解説する。 | 西條　美彦日立インダストリアルプロダクツ |
| 16:10～17:20 | API適用におけるモータ駆動圧縮機トレーンでの事例紹介 | APIを適用した可変速を含むモータ駆動圧縮機トレーンでの”Lessons Learned”を主に回転体の振動(ロータダイナミクス)について事例を交えて紹介する。 | 岡本　義行三菱重工ｺﾝﾌﾟﾚｯｻ |

※プログラムは都合により変更することがありますのでご了承ください。

申込方法：ターボ機械協会事務局（FAX：03-3944-6826、E-mail：turbo-so@pop01.odn.ne.jp）宛てに

　　　　　E-mailまたはFaxで、以下の(1)～(6)について明記の上、お申し込みください。

(1)タイトルに「第149回セミナー」参加申し込み (2)請求書宛名（会社名（学校名））※特別会員の場合は会社名の後に（会員）と明記ください。 (3)請求書送付先〒住所 担当者所属・氏名・電話番号

(4)参加者氏名 (5)参加者所属（部署名） (6)会員・学生/非会員の別（特別会員の場合不要です。）

※参加者の会社名（学校名）は (2)の請求書宛名に記載し、(5)の所属には部署名のみ記載ください。

※参加者が複数の場合、(4)～(6)を参加人数分記載ください。

※参加費は請求書が到着後開催日までに銀行振込にてお支払い下さい。

※申込後のキャンセルはお断りしております。

※ターボ機械協会継続教育制度が開始され、各講習会・セミナーに参加されるとポイントが付加されます。本セミナーのターボ機械協会 CPD ポイントは中級 6ポイントです。

第149回ターボ機械協会セミナー　「可変速を含むモータ駆動ターボ機械における諸問題」 目次

1．可変速モータ駆動ターボ機械の諸問題について

講師：坂口　順一（VSD分科会主査、TMEIC）

1.1 はじめに 時代のニーズとしての可変速モータ導入について

 1.2 機械メーカ・機械系エンジニアと電気メーカ・電気系エンジニアの異なる文化

1.3 VSD 分科会の活動とターボ機械協会における位置付け

1.4 Mass Elastic Model と強制振動系・自励振動系のマクロビュー

1.5 まとめ

2．可変速モータシステムの基礎と最新技術

講師：上原　考宏（TMEIC）

2.1 可変速モータシステムの種類、特徴、適用方法

2.2 インバータ装置による可変速制御の原理

2.3　　 可変速モータの特徴と仕様決定の留意点

2.4 インバータ装置の種類と特徴、選定方法、及び、仕様決定の留意点

2.5 可変速モータシステムの最新動向と適用例

3. 可変速モータ駆動回転機械の電気機械連成振動問題事例

講師：甲斐田　隆一（千代田化工建設）

3.1 SSTI (Sub-synchronous Torsional Interaction)問題について

3.1.1 SSTIとは

3.1.2 リスクのスクリーニング

3.1.3 ネガティブダンピング

3.1.4 インターハーモニクス（次数間高調波）

3.1.5 SSTIマトリックス

3.2 SSTI諸問題対応事例（３プロジェクト）

3.3 まとめ

4. 可変速モータ駆動方式の設計上留意点と事例紹介

講師：西條　美彦（日立インダストリアルプロダクツ）

4.1 ねじり振動現象（沈黙の破壊者(Silent Destroyer)）

4.2 ターボ機械における事例紹介

4.3 電動機の発生トルクと振動現象

4.4 過渡トルク変動（瞬停再始動、同期投入）

4.5 その他留意点

5. API適用におけるモータ駆動圧縮機トレーンでの事例紹介

講師：岡本 義行（三菱重工コンプレッサ）

5.1 誘導電動機のロータダイナミクスに関する要求条件(API541から)

5.2 ロータダイナミクスに関する要求条件のIEC,NEMAとの違い

5.3 ロータダイナミクスに関する要求条件のAPI546 (同期電動機)の比較

5.4 　 事例紹介

宛先：Fax．03-3944-6826　一般社団法人　タ－ボ機械協会　受付係

 (〒113-8610　東京都文京区本駒込6-3-26，

　TEL: 03-3944-8002，E-mail: turbo-so@pop01.odn.ne.jp)

ターボ機械協会　第149回セミナー（2020年7月3日　金曜日）

「可変速を含むモータ駆動ターボ機械における諸問題」参加申込書

|  |  |
| --- | --- |
| 参加者 | 氏名①所属（部署名）氏名②所属（部署名）氏名③所属（部署名）氏名④所属（部署名） |
| 請求書・受講票発送先 | 〒ご住所会社名ご所属ご担当者名電話番号E-mail |
| 会員・非会員 | 会員　ｏｒ　非会員　（いずれかに○をつけてください） |

　　　　　　　　　　上記　　　　名の参加を申し込みます。

＊ご記入頂の個人情報について、ターボ機械協会関連案内（入会・講習会・書籍）のお知らせのために使用することがございます。